

建築物環境配慮計画書(CASBEE 熊本)作成上の留意点

【CASBEE 熊本】

① 概要入力欄「建物名称」の記載について

→建物名称が「工事名」となっていることが多いため、必ず「建物名」にしてください。

② 概要入力欄「各面積」の記載について

→各面積記載欄の数値が設計図書の数値と整合性が取れない場合があるため、提出時には必ず最終図書の各面積を確認してください。

① 建物名称の記載
必ず「建物名」を記載してください。

② 各面積の記載
最終図書の面積との整合性を確認してください。

③ 「環境設計の配慮事項」の記載について

→環境設計の配慮事項の記載は必須事項です。各項目において、軽微な取組みであっても必ず何かしらの配慮事項を記載してください。

③ 環境設計の配慮事項の記載
各項目において何かしらの配慮事項を必ず記載してください。未記載不可。

④ 設計仕様確認支援ツール(確認表)の整合性について

→「評価点」と「配慮項目の設計概要欄の記載事項」との整合が取れないケースがあるため、提出時には評価の整合性の確認をしてください。

⑤ 設計仕様確認支援ツール(確認表)の添付図書欄の記載について

→本ツールは評価事項が適正であるか審査を行う上で確認をとるために作成を求めています。

ツール内の「配慮項目の設計概要を確認するための添付図書」欄の記載を基に提出図書を
確認いたしますので、「提出区分」が必須(◎、★)である場合は図書名称、図面番号、根拠資
料等の詳細を必ず記載してください。なお、任意(▲)である場合であっても評価に基づく図書、
資料があれば記載してください。

また、添付図書の提出が必須となる図書及び根拠資料の提出漏れ多く見受けられますので
提出時は確認をお願いします。

- ◎:設計概要が記載された図書の提出が必須である項目(添付必須)
- ★:添付図書の高得点(3点超)となる項目(添付必須)
- ▲:評価時に仕様確定が困難であり想定により評価する項目(添付任意)

評価点 ^{※1}		配慮項目の設計概要 ^{※2}		配慮項目の設計概要を確認するための添付図書	
「1-5」の欄を 記入してください。		評価対象項目は、仕様書の 設計概要を記入してください。 (図面番号が不明の場合は、 名称のある書名を記入してください。)		整合 確認	提出 区分
建物主体・ 共用部分	住居・商店 部分			◎設計仕様やその他の根拠事項が記載された添付図書の名称等を記入してくだ さい。(添付図書がある場合に記入してください。) ★添付図書の提出区分は、表上のコメントを参照してください。	
以下の各項目の 評価レベルを 記入して下さい。 (対象外は空白と して下さい。)		以下の該当する項目について、必要事項を記入してください。 (必要に応じて、行間隔を広げて利用してください。)			
※記入例を掲載していますので、記入例を消去してから記入してください。					
1.0	1.0	47dEXA)、一般事務室	▲	JASBEE簡本(新築)マニュアル II-4ページ (参考)室内許容騒音レベル	整合 確認
2.0	2.0	記載なし(T-1未済)	◎	図面(特記仕様書:建築)	
3.0	3.0	記載なし(Dr-30未済)	★		◎、★の場合は必ず記載する
4.0	4.0	記載なし(Lr-65未済)	★		
5.0	5.0	記載なし(Lr-65未済)	★		
1.0	1.0	天井に吸音材使用	◎	図面(仕上表)	

④ 評価点と配慮事項の設計概要との整合性

評価点と概要欄の記載事項との整合が取れないケースがあるため、
提出時には整合性の確認をしてください。

⑤ 環境設計の配慮事項の記載

確認図書の添付が必須である場合は「図書名称」、「図面番号」、「根拠資料」等を必ず記載し
てください。なお、任意である場合でも評価に基づく、図書、資料があれば記載してください。
また、添付必須となる図書及び根拠資料の提出漏れ多く見受けられますので提出時は最終確
認をお願いします。